

## 特別支援教育コース 令和元年度修士論文最終発表会

日時: 令和2年2月1日(土) 9:00~12:10(予定)

場所: 特別支援教育実践研究センター研修室・プレイルーム

口頭発表: 発表10分・質疑応答4分・入替1分

会場: センター研修室

9:00-9:05 開会の挨拶(河合先生)

No.	発表時間	氏名	論文題目	審査委員		
				主査	副査	副査
1	9:05-9:20	上平 昭宏	教育支援センターにおける発達障害児童生徒への支援体制に関する調査研究	河合	小林	坂口
2	9:20-9:35	佐久間 晶子	視覚障害を根拠とした図を含む地理試験問題の代替に関する研究	河合	佐藤	坂口
3	9:35-9:50	早瀬 雄太	超重症児に対する指導内容と担任教師の意識に関する調査研究	笠原	八島	佐藤
4	9:50-10:05	安田 浩士	特別支援学校(肢体不自由)教師の授業における「主体的な学び」の認識と配慮・工夫に関する調査研究	笠原	八島	佐藤
5	10:05-10:20	横田 恵	特別支援学校に在籍する医療的ケア児の自立活動の指導における養護教諭の専門性意識	藤井	河合	笠原
6	10:20-10:35	岩船 夏海	聴覚障害学生の文書読解における非連続型テキストの活用とその特徴	河合	小林	坂口
	10:35-10:50	休憩				
7	10:50-11:05	遠田 敦	特別支援学校のセンター的機能担当教師の小・中学校へのコンサルテーションについての実態と意識に関する研究	河合	八島	坂口
8	11:05-11:20	佐藤 昌史	知的障害者のワーキングメモリと知的機能・適応行動との関連	村中	小林	池田
9	11:20-11:35	堀井 優希	定型発達児の漢字学習に対するLD様症状とワーキングメモリの関連	河合	池田	坂口
10	11:35-11:50	渡邊 純子	知的障害生徒の作業学習における作業日誌の改良が自己記録に及ぼす効果	村中	小林	坂口

11:50-11:55 講評(河合先生)

会場: センタープレイルーム

9:00-9:05 開会の挨拶(笠原先生)

No.	発表時間	氏名	論文題目	審査委員		
				主査	副査	副査
1	9:05-9:20	黒川 健太郎	脳性麻痺のある生徒における算数の文章題解決過程の特性と指導に関する事例的研究	笠原	池田	八島
2	9:20-9:35	久保田 雅貴	知的障害者通所施設における支援マニュアルの活用が利用者の強度行動障害と課題遂行に及ぼす効果	村中	八島	小林
3	9:35-9:50	高木 梨子	通常学級に在籍する児童の算数の学業成績とADHD様症状、ワーキングメモリ、不安の関連	藤井	小林	池田
4	9:50-10:05	宮崎 美樹	通常学級に在籍する低出生体重児のききとりの困難の実態に関する研究	村中	小林	池田
5	10:05-10:20	吉垣内 美穂	自閉症スペクトラム障害児の聞き手への接近行動を伴う報告言語行動の形成	村中	池田	坂口
6	10:20-10:35	新谷 秀明	個別指導における自閉スペクトラム症児の教示要求行動の形成	村中	佐藤	池田
	10:35-10:50	休憩				
7	10:50-11:05	高地 朋見	特別支援学校のセンター的機能による小学校特別支援教育コーディネーターに対する個別の指導計画作成支援	藤井	笠原	池田
8	11:05-11:20	酒井 望有	重症心身障害児の機能的視覚の改善に関する事例的研究	藤井	八島	佐藤
9	11:20-11:35	佐々木 壮太	定時制高等学校における特別な支援を必要とする生徒の支援体制に関する調査研究	笠原	藤井	佐藤
10	11:35-11:50	佐藤 みどり	特別支援学校における学校間交流の実施体制と交流活動の実態に関する調査研究	笠原	藤井	佐藤
11	11:50-12:05	鈴木 地平	神経・筋疾患成人を対象とした主観的QOLの規定要因に関する調査研究ー長期的予後を見据えた教育的ニーズの検討ー	笠原	八島	佐藤

12:05-12:10 講評(笠原先生)

問い合わせ 特別支援教育領域 小林研究室 025(521)3674 yuuko@juen.ac.jp